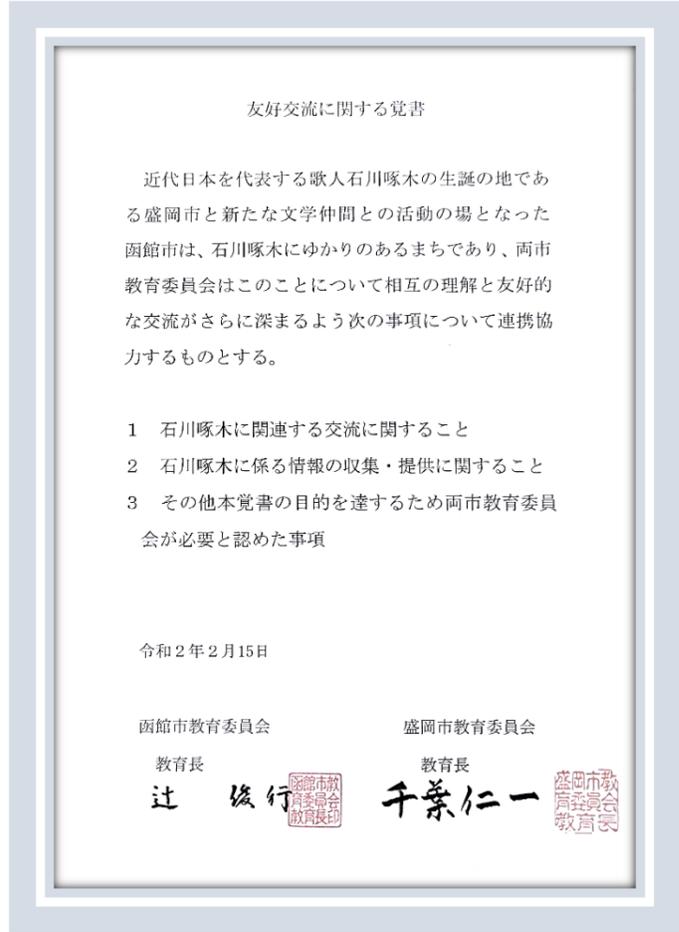


友好交流に関する覚書を締結！

令和2年（2020年）2月15日



北海道新聞 2020年（令和2年）2月19日（水）

啄木ゆかり 函館、盛岡の市教委覚書 資料交換など交流さらに

函館市教委は15日、明治時代の歌人石川啄木ゆかりの地として交流のある盛岡市教委と「友好交流に関する覚書」を結んだ。両市教委は今後、覚書に基づき、啄木に関わる展示資料の交換やイベントの情報提供などで一層協力する。

盛岡市内で開かれた締結式には、函館市教委の辻俊行教育長と盛岡市教委の千葉仁一教育長が出席。辻教育長は「これまで子どもも大人も啄木に関するさまざまな活動をしてきた。覚書をきっかけに、盛岡市との仲がより深まるよう努めていく」とあいさつした。

両市教委は、啄木生誕110年記念の1996年から交流を開始。2001年から「啄木の短歌100首で競う「啄木かるた大会」で優勝チームを相互に派遣している。盛岡市教委から覚書締結の申し入れがあった。（加藤蓮花）

函館新聞 2020年（令和2年）2月19日（水）

函館市教委と盛岡市教委は15日、盛岡市内で歌人・石川啄木を縁とする「友好交流に関する覚書」を締結する調印式を開いた。啄木の資料や催しの情報の収集、提供などで交流を深める。

両市の交流は1996年に始まり、「啄木交流かるた大会」やマラソン大会で市民を派遣し合ってきた。盛岡市教委から覚書締結の打診があり、函館市教委が受諾した。

調印式は啄木交流かるた大会盛岡大会の中で実施。盛岡市教委の千葉仁一教育長は「覚書の取り交わしは、函館と盛岡の交流に尽力した市民、関係者のためにも努力のたまもの」と、函館市教委の辻俊行教育長は「子どもや大人が啄木に関するさまざまな取り組みをしており、一層充実するよう努めていく」とあいさつした。（稲船優香）

啄木生誕祭第18回啄木かるた大会に参加した函館市の優勝チーム「わんぱくスター」と競技の様子

